

日本列島 組合探検隊



新製品・新技術・新サービスの開発 和日配の地産地消、「あおり正直村」ブランドの取り組み

～青森県農産品加工協同組合（青森県）～

◆背景と目的

食品の安心・安全、地産地消、フードマイレージなどの関心が高まる中で、①県産原料使用、パッケージの統一、②中小メーカーのために多額の資金を要する共同店舗を設けるのではなく売場借用型での店舗の確保、③大手流通発のPBと真逆の取り組みである中小企業発の自主企画商品を販売する目的で、平成21年5月に組合を設立し、「あおり正直村」ブランドを立ち上げた。

◆事業・活動の内容

事業は、①青森県産農産物使用、②組合共通のロゴ、パッケージの使用、③百貨店、スーパーの一角に独立ブースを設けるという条件で、和日配（こんにゃく、納豆、豆腐、麺）を中心とした食品の共同販売である。これまでブランドのロゴ、パッケージを作成、また「あおり農商工フェスタ2009」に試験販売として出店し、売場商品が相次いだ。平成21年12月1日より、百貨店、スーパーでの本格販売がスタートした。全国に先駆けた農商工連携型組合であるだけでなく、パッケージが統一されていることから、大手チェーンストアが行うPB商品とは正反対の中小企業発の自主企画商品となる。

◆成果

大きな成果はブランド構築に成功したことである。ブランド企画としてバイヤーに持ち込んだことで、価格決定権を得た。当組合は、現理事長の鎌田氏が組合づくりの段階から県産品を使用したものづくりを行うべく、つてのない異業種の業者に提案して設立した。成功要因は、毎月の定例会と試験販売を通し結束力が構築されたことと、各スーパーのバイヤーとの商談を重ね、勝ち取った契約が増えるほどに求心力が強くなったことである。

また、スーパーや百貨店の売場を共同販売の拠点とすることで、従来ある売場に提案次第で、中小企業サイドに有利な条件の販路を得ることができたことである。



【組合の概要】

所在地：青森市古川3-14-8

電話：017-775-3001

設立：平成21年5月 組合員：8名

地域の活性化 地域住民が優先、地域密着顧客創造型商店街づくり！！

～岩村田本町商店街振興組合（長野県）～

◆背景と目的

上信越自動車道整備、長野新幹線佐久平駅開業による周辺地区の商業集積が始まり、岩村田地区から大型店舗が移転するなど急速に賑わいの中心移動が進んだ中、危機感を感じた若手経営者、後継者が、地域密着顧客創造型商店街を目的とし当振興組合を立ち上げ、当時全国で最も若い振興組合（理事平均年齢36.7歳）が誕生した。古くから造り酒屋や味噌醤油の製造業者が集まっていたことから、手作りの街を目指し、「手づくり・手仕事・技の街。地域と共存し、共に生き、働き、暮らす町をつくる。」をコンセプトとし、地域に密着した各種事業を行っている。

◆事業・活動の内容

主なものは、①地域と商店街を結ぶコミュニティ施設「中宿おいでなん処」の開設、②地域密着型食料品店舗「本町おかず市場」の開設、③商店街のコンセプトである「手づくり・手仕事・技の街」をテーマに新進気鋭のチャレンジャーを6空き店舗に迎え入れ、チャレンジショップ「本町手仕事村」を開村、④商店街が運営する塾としてはおそらく日本初の「岩村田寺子屋塾」を開塾し地域ぐるみで子育てをしているなどである。「1理事1事業制」をとり、

組合が行う事業は担当理事が責任を持って管理運営する。今後も子育て支援に力を入れるなど、地域住民に密着した事業を行っていく。

◆成果

商店街が地域のために各施設を開設したことにより、地域住民とのコミュニケーションを図ることができ、商店街の核としての役割を果たしている。また、「手仕事村」の卒業生が街区内の空き店舗に独立開業し、空き店舗が一気に埋まり、若い創業者による新しい業種業態ができた。平成21年3月に中小企業庁の「新・がんばる商店街77選」に選定。また、平成21年10月には地域商店街活性化法に基づき事業認定され、今後商店街の先進モデルとして注目・期待されている。



【組合の概要】

所在地：佐久市岩村田765番地

電話：0267-67-3509

設立：平成8年8月 組合員：56名

URL：<http://www.iwamura.com/>